

東洋社会思想史Ⅰ(2)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

平常点と定期試験（筆記試験）によって評価する。両者の比率はおおむね50%ずつとする。平常点は、不定期に実施する小テストの得点に、小テストの受験回数に応じた得点を加えて算出する。
小テストと定期試験には、いずれも授業の内容に関する筆記問題を出し、理解度をはかる。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する
授業中に参考資料を適宜配布する。

【授業外学修（予習・復習）等】

講義の後、基礎的な用語の意味や内容、他の用語との繋がりなどを確認することを通じて、各自の知識として定着させることが望ましい。

【その他（オフィスアワー等）】

とくにありません。講義後に質問を受け付けますので、わからなかった点などあればなんでも質問してください。